

まずは、PTA 活動の紹介についてです。PTA 活動は、ともすると巻末に小さなスペースで紹介されることが多いものですが、紙面づくりの中心に位置付けている広報紙も多くあります。PTA 活動をメインに紙面構成することでインパクトが強くなり、読みやすくなっているようです。

取組例を紹介しましょう。

大賞に輝いた旭川市立愛宕東小学校の広報紙です。この広報紙で目を引くのは、「会長の PTA 活動」を 2 ページにわたって、日記風に掲載していることです。日記形式が新鮮で、日記の文字と写真の配分もバランスがとれています。この広報紙では、ほかにも 2 ページにわたって PTA 活動報告を掲載しています。こちらでも写真と解説の配分がよく、引き込まれます。これら二つで広報紙全体の半分以上を占めており、会員の意識啓発に大いに効果がありそうです。

釧路市立芦野小学校の広報紙も全体の半分を使って「PTA 活動紹介」をしています。内容は「PTA 祭り準備」「図書室やバラ園の整備」「PTA 広報紙づくり」などですが、写真に動きが感じられ、解説とよく対応して読みやすくなっています。読み手に呼びかける書きぶりになっていることも新鮮です。

函館市立東山小学校の広報紙は、校長先生、PTA 会長、町内会長による「子ども達の未来 3 者 3 様トーク」を掲載しています。「子どもたちを見て感じていること」「大人は子供にどう関わっていくべきか」などの受け答えに温かさを感じます。また、学校を会場にして開催された「一人一人のウェルビーイングの向上を目指して」という道徳教育のシンポジウムも組み入れています。シンポジウムと組み合わせ

せたことで読者に考えさせるきっかけが生まれました。関連する記事を組み合わせることが興味深く、読者を引き付ける構成になっています。

芽室町立芽室中学校の広報紙はPTA行事活動報告を2ページにわたって掲載しています。会員部、学年部、生活部、研修部の様子ですが、余白を十分にとって写真と解説のバランスがよく、写真に動きや自然な笑顔などが見られることが魅力です。特に会場準備の様子やフロアカーリングで勝ったチームが喜び合ってハイタッチをしている様子などは臨場感にあふれた写真です。

PTA 活動を紹介するにも、魅力的な伝え方がいろいろとあることがお分かりいただけるとと思います。参考にしてください。